

# —地方創生におけるICT利活用の実際と新たな地域価値の創造にむけて— ～「ICT利活用 半島サミットin氷見」を開催～



総務省 鈴木 厚志  
高度通信網推進官



愛媛大学 教授  
坂本 世津夫 氏



閉会の挨拶をする氷見市  
本川 祐治郎 市長



一日目のセミナーの様子

北陸情報通信協議会は、11月13日（金）、14日（土）二日間にわたり、氷見市いきいき元気館等において、北陸総合通信局、一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）と共催により、「ICT利活用 半島サミットin氷見」を開催しました。

このセミナーは、半島やその近隣の地域が抱える課題とその解決にむけたICT施策や、全国の先進的自治体の事例を紹介することにより、ICTの利活用による地方創生と新たな地域価値の創造につなげていくことを目的として、自治体関係者やICT関連企業などから約100名の参加がありました。

初日は、全国地域情報化推進協会 ICT地域イノベーション委員会委員で筑波技術大学教授の須田 裕之（すだ ひろゆき）氏が「地域課題解決のための自治体システムの方向性」と題して、総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 地方情報化推進室長 梅村 研（うめむら けん）氏が「ICT活用による地方創生に向けて」と題して、総務省 総合通信基盤局 高度通信網振興課 高度通信網推進官 鈴木 厚志（すずき あつし）氏が、「情報通信基盤の整備について」と題して、愛媛大学 社会連携推進機構 教授（地域連携コーディネーター）坂本 世津夫（さかもと せつお）氏が「地方創生とICT地域イノベーション」と題して、それぞれ講演を行いました。

引き続き、氷見市 市長政策・都市経営戦略部 秘書・市民情報課 市民情報・つばやき受発信担当 矢代 宏樹（やしろう ひろき）氏から「市民と事業者、行政で考える氷見市ホームページリニューアルの取り組み公開から活用へ」と題して、金沢市 市長公室 情報政策課 ICT推進室 室長 松田 俊司（まつだ しゅんじ）氏から「ICT×シビックテックによる交流・連携の促進」と題して、それぞれ事例紹介を行いました。

二日目は、ひみ漁業交流館 魚々座において、富山県 経営管理部 情報政策課 課長 荻布 彦（おぎの ひこし）氏から「TOYAMA Free Wi-Fi」について説明が行われるとともに、午後からは、南砺市のエリア放送の整備に関し現地での説明を受けました。

当協議会では、今後も地方創生をはじめとするICT利活用に関するセミナーや講演会等を開催していきます。



開会の挨拶 星 克明  
北陸総合通信局長



筑波技術大学 教授  
須田 裕之 氏



総務省 梅村 研  
地方情報化推進室長



二日目の現地視察（ひみ漁業交流館魚々座）